

自分たちでアプリを作る選択肢

バイブコーディングで変わる社内ツールの調達方法

2026年8月14日

株式会社DnD (DnD Inc.) — Distill n Develop

この資料の要点

- バイブコーディングとは、AIに自然言語で指示するだけでウェブアプリを生成できる手法で、2026年に中小企業でも現実的な選択肢になってきた。
- 日報フォーム・簡易在庫管理・顧客リストなど、要件がシンプルな社内ツールであれば非エンジニアでも数時間で試作できるレベルに成熟している。

- ・品質・セキュリティ・メンテナンス体制の考え方を事前に整理しておくことが、失敗しない活用の分かれ目になる。

バイブコーディングとは

バイブコーディング（Vibe Coding）とは、プログラムを自分で書くのではなく、「こういうものを作りたい」とAIに自然言語で伝えるだけでコードを自動生成してもらう開発手法です。元Tesla AIディレクターのアンドレイ・カルパシー氏が2025年2月に提唱し、2026年にはMIT Technology Reviewが「2026年の10大ブレイクスルー技術」のひとつに選出しました。

「外注でも、SaaSでもない」選択肢が生まれた背景

中小企業では「日報集計フォームが欲しい」「在庫をスマホから記録したい」「顧客対応履歴を共有したい」といった課題が頻出します。外注するには予算感が合わず、市販SaaSでは機能過多で高コスト——その中間に、バイブコーディングが応えられる領域があります。

欲しいのは「フルスクラッチの基幹系」ではなく、「今すぐ動く、うちだけのフォーム」。その規模なら、AIと対話しながら自分たちで作れる時代になっている。

バイブコーディングで作れる社内ツール例

データ入力・管理系

- ・日報・週報の入力フォーム（提出状況の一覧確認付き）
- ・簡易在庫管理（入庫・出庫の記録、現在数の確認）
- ・顧客情報の一覧・検索・メモ記録画面（簡易CRM）

申請・承認系

- ・休暇申請フォーム（承認者への通知付き）
- ・経費申請の記録・一覧ビュー
- ・見積依頼・発注依頼の簡易ワークフロー

情報共有・集計系

- ・スタッフのシフト管理・表示画面
- ・社内アンケートフォームと集計ダッシュボード
- ・FAQ・マニュアルの検索画面

代表的なバンプコーディングツール

Bolt.new (ボルト)

チャット形式でアプリの仕様を伝え、フロントエンドからバックエンドまでを一括で生成するブラウザベースのツールです。非エンジニアがビジネスWebアプリを数時間で構築した事例が複数報告されています。

Lovable (ラバブル)

「アイデアをアプリに変える」をコンセプトにしたツールで、UIのデザインと機能を自然言語で指示するだけで、Reactベースのウェブアプリを生成します。修正も会話ベースで行えます。

Cursor (カーソル)

AI搭載コードエディタで、コードの読み書きが多少できる担当者であれば開発スピードを2倍以上に高められるとされています。

失敗しないための3つの考え方

① 最初から「完璧なもの」を目指さない

まず「最低限これだけ動けばいい」という小さいスコープで試作し、使いながら育てていく進め方が向いています。

② 社内データの取り扱いルールを先に決める

生成されたアプリが社外サービスのサーバーにデータを保存する場合、機密情報や個人情報を入力しないルールが必要です。データの保存先とアクセス権限は、ツールを選ぶ前に確認してください。

③ 「作って終わり」にしない運用設計

修正の手順をメモに残す、変更のたびにバックアップを取る、誰が管理するかを決めておく——こうした習慣が長期的な活用を支えます。

エンジニアがいなくても始められる、でも相談先は持つ

バイブコーディングは「エンジニアの出番を大幅に減らせる」手法ですが、本番環境へのデプロイ・セキュリティ診断・パフォーマンス調整では技術的な判断が必要になります。「試作してみて、問題のある部分だけ専門家に相談する」ハイブリッドな進め方が実用的です。

株式会社**DnD**では、社内ツールの内製化支援や、バイブコーディングで作成したアプリの品質確認・本番デプロイ支援も承っています。

「まず試作してみたが、このまま使っていいか不安」という段階からのご相談も歓迎です。

ご相談・お見積りは無料：<https://dnd-inc.jp/contact.html>

記事全文：<https://dnd-inc.jp/blog/vibe-coding-internal-tool-guide.html>